

株式会社イグナルファーム大郷



1 現在の活動状況等

(1) 経営理念等

「共にイグナル(良くなる)」～お客様と共に、地域と共に、自然と共に、従業員と共に、会社と共に～の理念のもとで、安全、安心でお客様の心に響く「愛のあるミニトマト」をお届けします。

(2) 生産技術の特徴

- 統合環境制御システム「BRID」により、ミニトマトの栽培数値の見える化に基づく最適管理を行っている。
- GLOBALG.A.P認証を平成31年3月より継続している。
- 令和2年度スマート農業実証プロジェクト(緊急経済対策)により、糖度等の内部品質検査を含めた自動選果機等を導入し活用している。

(3) 販売面の特徴

- 市場出荷(約6割)と量販店等への直販(約4割)を行っている。
- 直販では高糖度品の契約栽培にも力を入れている。

(4) 経営組織の特徴

- (株)イグナルファーム(平成23年設立、東松島市本社、きゅうり・いちごの生産販売)のグループ会社である。

(5) 労務管理の特徴

- GLOBALG.A.P認証を平成31年3月より継続し、さらに作業管理システムの導入で「作業を見える化」し、生産工程管理の向上と働きやすい職場づくりに努めている。

- 作業マニュアルを紙ベースや動画で整備し、実務経験の少ないスタッフへの指導に生かし、作業の効率化と平準化を進めている。

(6) 経営管理の特徴

- 生産経営の運営計画を社内でも共有し、PDCAサイクルによる目標管理と課題の抽出・改善に努めている。

(7) その他、特筆すべき事項

- 農業生産にとどまらず地域社会等との連携を重視し、また行政等と連携し、地域農業者の育成に協力している。
- 環境への配慮を重視し、GLOBALG.A.P運用の徹底とSDGsの取り組み強化に努めている。
- 情報の発信、収集(ネットワーク活動を含む)を重視し、SNSの活用や他事業所との勉強会等を進めている。

2 法人設立までの変遷(取り組み経過等)

(1) 法人設立までの動機、きっかけ

- 東日本大震災後に東松島市で、(株)イグナルファームを設立。その後、需要拡大に応じた生産拡大のため、大郷町に(株)イグナルファーム大郷を設立し、ミニトマトの生産を開始した。

(2) 法人化に至る経過等

- 東松島市大曲地区「イチゴ」、東松島市赤井地区「キュウリ」、大郷町「ミニトマト」の各拠点化による生産拡大を図った。

経営のプロフィール

経営概要

施設ハウス 10,800㎡
ミニトマト作付 25,000本

主な施設・機械の保有

高度環境制御栽培施設9,936㎡、集出荷エリア324㎡、管理棟108㎡、育苗棟432㎡、自動カーテン設備一式、給水排水設備一式、電気設備工事一式、自動防除設備一式、収穫調整設備一式、空調(暖房)設備一式、高設栽培設備一式、複合環境制御設備一式、予冷庫設備一式、NKK式自動選果機、AGV自動台車12台

構成員等

構成員(役員) 3名
従業員(常時) 14名 他に作業繁忙に応じ臨時雇用

法人設立年月日

平成29年10月20日

認定農業者認定年月日

平成29年12月1日

資本金

800万円

販売額等

3,700万円(令和元年度台風被害からの生産復旧年)

役員名

代表取締役: 阿部 聡
取締役: 佐藤 雄則, 武田 真吾
監事: 鶴田 勇治(税理士) 監査役: 齋藤 智(弁護士)

補助事業・制度資金活用実績

令和2年度スマート農業実証プロジェクト(緊急経済対策)

(3) 法人化後の評価(良かった点等)

- 新会社設立による新品目の導入と生産量確保
- 確保できる収穫量を基にした直接取引
- 就業規則等のルール化
- 新規就農者の確保
- 栽培データの数値化
- 地域人材育成の促進

3 今後、将来に向けてのビジョン等(現時点)

(1) 将来ビジョンと経営戦略等

- 規模拡大を進めるとともに、後継者を育成し、宮城県食産業の担い手として経営発展を目指す。
- 他産業とも連携し、農業のICT化と作業自動化を進め、働きやすく生産性の高い農業の実現を目指す。
- 新規独立者を育成し、未来の後継者を育て地域農業の発展に寄与する。

(2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況

- 6次産業化を強化し、(株)イグナルファーム大郷のファンづくりを行う。
- グループ全体でICTを活用し、栽培のデータ化による生産性の向上を目指す。

(調査 仙台農業改良普及センター)

略図



株式会社イグナルファーム大郷

〒981-3501
宮城県黒川郡大郷町大松沢字下町東4番地
TEL 022-342-1650 FAX 022-342-1660
Eメール igunalfarm.osato@gmail.com
URL <http://www.igunalfarm.com/>

視察受入条件

受入可
受入条件 視察研修費 3,500円/1人